

# デジタル ボイス

メルカウセウリジの登場

## 安藤 房子

そろそろ仕事はじめという読者の方も多いのではないだろうか。こんな時期は、毎年なせか、仕事もブライデーも新たな目標をたてなくてはなる。

それにしても……なんせ二〇〇八年末のリストラの風はすこかった。誰もが知る大企業が続々とリストラ計画を発表し……そんな中、私のところには、リストラにからんだメール相談がけっこう寄せられた。

たとえば、こんなふうである。

「結婚を意識している彼が、派遣先の自動車会社から解雇されてしまいました。これがかつきあい続けるかどうかについて悩んでいます」(二十代独身女性)

「僕は同期の社員の中でとりたてて仕事ができるタイプではありません。いつリストラされるかとびくびくしながら過ごしています。なんだか最近鬱っぽいです」(二十代独身男性)

ほかにも「働きたいのに、派遣先が見つからない」とか「派遣期間の契約を継続してもらえなくてストレスになっている」など、主に二十〜三十代の男女からの相談が多かった。

企業のトップの人たちは、彼らのこういう気持ちを知っているのだろうか。リストラの影で、この寒空の下、住むところや食べるものを失うことに脅えている人たちが、人生設計が狂って自暴自棄になっている人たちが……そんなひどいとりりの気持ちを知ろうとしているのだろうか。

たしかに、経営する側にも理由はあるのだろう。勤務態度が著しく悪い人や、よっぽど生産性の低い人なら、リ

を受けたい。

〇八年末にリストラを実施した企業の中に、私がかつて広告制作会社社員だったときにかかわったメーカーもあつた。まだ景気のよかつたあのころ、そのメーカーは、多数の著名人に高額な講演料を支払い、全国主要都市でセミナーを開催していた。私はその運営スタッフのひとりだった。

バブル崩壊後だったものの、私たちが宿泊するのは一流ホテル

## 「スキル磨き」を ことしの目標に

ストラされても仕方ないのかもれない。だけど、最近のリストラ対象者は違う。ごく普通に、真面目に働いているのに「もういいよ」と、最後通告

ストラされても仕方ないのかもれない。だけど、最近のリストラ対象者は違う。ごく普通に、真面目に働いているのに「もういいよ」と、最後通告



ル。新幹線以外の移動はほとんどタクシー。夜は全く料理や懐石料理を食べながらの打ち合わせの後、女性が接客するお店で宴。翌日はメーカー担当者が顧客をゴルフ接待。たぶん、メーカーはかなりの額を使っていたと思う。

もちろん、セミナーも宴もゴルフも、広告宣伝の一環であった。あのころと今では、企業の経営状態も違う。それでもやっぱり思ってしまう。

「あのお金」

あれば、この冬リストラされた人たちの生活費くらいにはなったのではないかと。

当時の私はまだ二十代。「豪華だなあ……」と思いつながらバクバクぐを食べてはいた。私はただただ上司ともて、メーカーの宣伝担当さんに嫌われないように振る舞うことしか頭になかった。そう思うと、私の口に入っただけたちは、なおよさもつたいなく感じる。

あのメーカーは今、リストラ対策以外にどんな経費削減をしているのだろうか。どんなところでも無力で何もできないけれど、私は、リストラのメール相談者には「スキル磨き」をすすめている。スキルさえあれば、自分の身を守っていけるからだ。人より抜きんでたスキルをひとつ身につけるか、それが無理なら二つ以上の専門分野を持つのが私のおすすりだ。そうすればリストラ対象になりにくいし、仮にリストラされた次の仕事先を見つげやすくなる。企業も人を裏切るが、スキルは人を裏切らない。

また、一年はスタートしたばかり。今年は今までないスキルをひとつ身につけるといふ目標をたててみるのもいいのかもしれない。私も、昨年取得しそ「ねた食育アドバイザー」の資格取得を、今年の目標のひとつにしたいと思っっている。

(恋愛カウンセラー・作家 大野出身)

■次回(2月2日)に掲載します